

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 03 05	中期総合計画主要施策番号		2-06、3-04、3-06		担当課	部・課	社会部長寿福祉課	
事業名		介護センター研修事業				内線		2445		
						E-mail		choju@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・介護に対する県民の理解を深めるとともに、介護保険制度の円滑な運営を図るため、県民に対する介護知識・技術の普及研修や介護従事者の資質向上のため専門研修、福祉用具の展示や介護に関する相談・助言などの啓発活動を行う。								
	事業の必要性	<p>【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】</p> <p>・介護保険指定事業所及び利用者は年々増加し、介護サービスの提供に携わる人が増加している。</p> <p>・サービスの量が増加し、それとともにより一層質の高いサービスの提供が求められている。</p> <p>・介護サービス従事者は専門的な知識・技術を身につけて利用者に満足してもらえるサービスを提供する必要があるが、苦情や相談も発生している。</p> <p>【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】</p> <p>・介護サービスの必要量が増加して新たな従事者が増えるとともに、介護サービスが多岐にわたり、制度改正等頻繁に行われる中、専門的研修がないと知識・技術を習得することは困難である。</p> <p>・介護保険制度を維持するための人材育成や資質向上のため研修の充実是不可欠である。</p> <p>【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】</p> <p>・介護従事者の人材育成や資質向上により、サービスの質の向上を図る必要がある。</p>								
	事業内容	<p>・介護サービス事業者等を対象とする研修を実施する。</p> <p><介護従事者> 認知症介護実践研修(実践者研修・実践リーダー研修)、認知症対応型サービス事業者管理者研修、認知症対応型サービス事業開設者研修、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修、福祉用具プランナー研修ほか</p> <p><介護支援専門員> 実務研修・再研修、実務従事者基礎研修、専門研修・更新研修</p>								
	実施期間	H7 ~		根拠法令等		介護実習・普及センター運営要綱				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	・県民の介護に関する基礎知識が高まること、また介護従事者等の専門的かつ最新の知識・技術の習得が得られることにより、介護サービスの質の向上を図る。		・介護従事者、介護支援専門員等を対象に必要な研修を実施する。			・介護従事者1,139人、介護支援専門員1,635人、その他1,928人の受講者があり、介護従事者等の専門的な知識・技術の習得が図られた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	18,562	22,908	21,975	国庫・県単	国庫・県単		
	決 算 額 (B)		千円	16,680	22,816		実施方法		直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	7,118	14,318	14,242	歳出節別			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	5.90	5.90	5.90	内訳等	・報償費:8,384 ・需用費:2,554 ・使用料:3,824		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	58,806	64,995	64,154	(単位: 千円)			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	介護支援専門員専門・更新研修修了者		人	811	822	1,100				
	介護支援専門員実務研修修了者		人	545	568	600				
	研修講座数		講座	15	17	17				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・介護サービスの提供に携わる人の増加や、介護支援専門員更新制度導入に伴う研修の義務付けによりニーズが増加。 ・介護保険制度維持のための人材育成であり、県の関与が望ましい。 ・介護サービス提供事業者には必須の義務的研修を実施。 ・外部の専門的な能力の活用等、更なる研修の質の向上、充実に向けた検討を進めており、併せて、21年度から受講料の額を改正したところ。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・介護サービスの提供に携わる人の増加に対応し、一層質の高いサービスを提供するため、人材育成と資質向上のための実践的な研修の充実が必要である。 ・具体的には、介護支援専門員研修における医療系知識の充実に向けた講座内容の見直しや、e - ラーニングの導入による研修手法の見直し等、各種研修のあり方を検討する必要がある。							